CABANA RACING

RACE REPORT

GR TOYOTA GAZOO Racing GR86/BRZ Cup

Rd.6 鈴鹿サーキット

チャンピオンを獲得できるか大一番のレース
着実なレース運びで２位表彰台に登る

TOYOTA GAZOO Racing GR86/BRZ Cup はGR GR86 Cup Car Basic と SUBARU BRZ Cup Car Basic を使ったワンメイクレースです。プロフェッショナルシリーズとクラブマンシリーズの2 シリーズ制で行われており、プロフェッショナルシリーズには、国内トップドライバーが数多く参 加する、レベルの高いワンメイクレースとなっています。



T×2 CABANA Racing 堤優威 ゼッケン1

堤優威がドライブする「T×2 CABANA RACING CABANA BS GR86」の2026 年は、第１戦オートポリス２位、第２戦スポーツランドSUGO２位、第３戦岡山３位、第４戦十勝４位、そして前戦の第５戦富士大会では今シーズン初優勝を獲得しました。この優勝でライバルとのポイント差を広げ、シリーズランキングがトップなのはもちろん、今回の第６戦鈴鹿で勝てばチャンピオン確定という状況になりました。

第６戦の舞台は鈴鹿サーキットです。１周5,807mという長いコースにより周回数は８周での戦いです。抜きにくいことで有名な鈴鹿サーキットでは、スタートで前方に位置することが非常に重要になりますので、練習走行を含め決勝を見据えた準備が必要になります。

チームは木曜日からサーキット入り、昨年の走行データをもとにしたセットアップの確認作業を、30分×３本の走行で行います。金曜日は30分×1本という少ない走行時間の中で予選シミュレーションとともに、最後のセットアップを決めていきます。今回の大会でチャンピオンが確定する可能性はありますが、チームメンバー全員が浮き足立つことなく、着実で堅実な仕事をこなしていきます。

QUALIFY

公式予選【PRO】2026 年 10 月 3 日（土）11:05 ～　天候：晴れ　路面：ドライ

タイム　2'25.475　　順位　3　位

秋らしい朝晩は少し肌寒いながら、昼になると暑さも感じられるようになったこの週末。前日の12時35分から行われた専有走行で堤とチームは新タイヤを投入し、最終的な予選に向けてのセットアップの確認を進めていきます。専有走行で３位を獲得しており、予選にも期待が掛かります。

予選は15分。堤は残り4分までピットで待機し、路面状況が良くなっていくのを待ちます。多くのライバルが一斉にコースインしお互いのスリップストリームを少し利用しながらタイムを削っていきます。残り4分でのコースインは何かコース上でトラブルが発生するとタイム計測を行えず、後方に沈む可能性が高いのですが、堤はしっかり自身のポジションを確保しタイムを刻み、３位のタイムを獲得しました。





CABANA RACING

RACE

決勝レース【PRO】2026 年 10 月 4 日（日）11:56～　天候：曇り　路面：ドライ

タイム　23'52.441　順位　2　位



今回の決勝日は朝から複数の他カテゴリーの決勝レースが行われたあとTGR GR86/BRZ Cupプロフェッショナルクラスが行われるスケジュールです。直前の決勝レースで、赤旗レース中断などがあったため、プロフェッショナルクラスのレースは15分遅れでスタートすることとなりました。この遅れによりチームはスタート進行のタイミングを計るのに神経を使うこととなり、ドライバーは集中力を高める大事な時間に水を差されることになってしまいました。

そのような状況でも堤はグリッドで談笑しながら最後のタイヤ内圧調整を行いレースに挑みます。３位からスタートを決めて、ポールポジションからスタートしたライバルの蒲生選手をマークします。２位からスタートした小林選手の動向も冷静に見極め、２周目のスプーンカーブで失速したところを見逃さず２位にポジションアップします。シリーズランキングトップ２台による直接対決の様相になり、緊迫したレースになるのかと思われましたが、２周目に複数のマシンが絡む大きなクラッシュが中団グループで発生します。セーフティーカーが投入され５周目まで車両の回収とコース清掃が行われました。

６周目に再スタートが行われ残り周回数は３周。堤はトップを走行する蒲生選手にぴたりとマークしチャンスを伺いますが、なかなか追い抜くチャンスを見出せません。

もし無理な追い抜きをしてコースオフしてポジションダウンや、クラッシュなどをしてしまうとチャンピオンに赤信号が点灯してしまいます。冷静にポジションをキープして２位でチェッカーを受けました。

今大会でのチャンピオン獲得は逃してしまいましたが、依然シリーズランキングはトップを維持しています。次戦の最終戦で蒲生選手よりポイント多く獲得すればチャンピオン決定なのは変わりません。

次戦は11月21日～22日にモビリティリゾートもてぎで開催されます。チャンピオンを確実に手に入れるため、冷静に油断の無いよう挑んでいきます。













COMMENTS

チームスタッフ＆ドライバー

T× 2 CABANARacing チーム監督

安藤　宏



前戦で優勝することが出来きたため、ポイント争いを有利な形で残り2戦を迎えられました。鈴鹿サーキットを得意とするドライバーは多いため、気を緩めて臨む事はできませんでした。週末を通して予選、決勝ともに手堅くまとめられて決勝２位をという結果で終えられたので、ポイント争いで有利な形で最終戦を迎えられることは上々の結果だと思います。ドライバー、エンジニア、チームスタッフの不断の努力に感謝します。もてぎでの最終戦を迎えるにあたり油断なく勝利を目指して準備したいと思います。今回のレースも大勢の応援してくださるファンの皆様、ご支援とサポートしていただいておりますスポンサー様、サプライヤーの皆様に多大なる感謝を申し上げます。

ドライバー　#1　CABANA BS GR86

堤　優威



練習走行や専有走行では、予選に向けてタイヤの空気圧やコンディションの比較検討を行い、セットアップを良い方向にできたと思います。予選では走行時間のギリギリまで待ってコースインし、作戦通りにはいけたと思います。
決勝では蒲生選手をマークしながら走り、小林選手のミスをうまく交わせて２位に上がれたのは良かったです。蒲生選手と上位争いになりましたが、無理に抜くことはあまり考えず、自分がミスをすることないように集中してレースを進めていきました。セーフティーカーが入ったタイミングでみんな１回冷静になったことで、チャンスを得るには周回数が足りませんでしたが、２位に入れたことは良かったです。モビリティリゾートもてぎは相性も悪くないと思うので、油断せずしっかり優勝をしてチャンピオンを獲得したいと思います。

T× 2 CABANARacing チーフエンジニア

山崎　登



ライバルの選手よりも前、もしくは離されない位置でレースを行えるように、昨年の鈴鹿をベースを基本にして、今年のマシンの様子と傾向を反映してマシンを持ち込みました。練習走行などでライバルとのタイム差をみると上位にいることは間違いなく、予選でもライバルと直接対決できるようなポジションを目指しましたし、ドライバーがしっかりタイムを出してくれたので良いポジションを獲得できました。決勝もレースの組み立てもしっかり行え、安定したレースをおくれました。次戦の最終戦は自分達がミスを起こさなければタイトルは確実ですので、油断せず緊張感を持ってレースに挑んでいきたいと思います。

BRIDGESTONE BRIDE EXEDY Speedhack Store Neuf TOMEI GROUP CABANA Child.co.,ltd
POTENZA HYPER WATER INGINGMOTORSPORT AREX UnitedSound 焼肉上田屋 株式会社 田佐 繁乃鮨
GR Toyota GAZOO Racing GR86/BRZ Cup
T2 CABANA RACING